

みやぎ街道交流会の会旗完成

- ▶ みやぎ街道交流会の会旗については、会員から「交流会をアピール出来る旗がほしい」との意見を受けて、平成 21 年度事業計画で会旗作成が承認されました。そして、平成 22 年 5 月に事務局デザイン案を示して、会員アンケート実施しましたが、「歴史性の観点から仙台藩ゆかりのデザイン」が課題なっていました。
- ▶ その後、「仙台藩の家紋をモチーフにしたデザイン」を中心に検討を進め、九曜紋をアレンジした現代的でシンボル性が高い案を作成し、美術の関係者の意見を踏まえた基本案を平成 29 年度総会に示し、更に事務局会議や幹事会で検討を進めてきたものです。



今回制作した会旗は、右写真の 2 種類です。

[写真上] 寸法 (H400*W600)
木綿地 (シャークスキン)
探訪会や集合写真等で使用

[写真下] 寸法 (H700*W1050)
木綿地 (ブロード)
交流大会・講演会等での掲示用

会旗デザインコンセプト

宮城県や仙台をイメージする様々な要素を組み合わせ、会の活動理念や活動フィールドを力強いデザインで表現しました。

デザインの概要を以下にご紹介します。

九曜紋 / kuvou-mon

仙台藩に伝わる家紋の 1 つ。九曜の語源は古くはインド天文学が扱う 9 つの天体とそれらを神格化した神に起因します。シンプルな円の構成が現代的でシンボリックな印象を与えることから、本デザインのメイン構成要素として採用しました。

水玉模様 / Polka dot

九曜紋を構成する円形は、仙台藩ゆかりの水玉陣羽織を参考に色付けしました。この 6 つの色が持つ印象をもとに、当会の活動理念に基づくキーワードを組み合わせることで、ストーリーのあるデザインに仕上げました。

政宗の上弦月 / Crescent of Masamune

伊達政宗の兜の前立てにある上弦月。力強い上弦月を中央に配置することでデザインに奥行を持たせるとともに、宮城県や仙台の歴史を題材とする当会の活動フィールドを表しました。

揮毫 池田僊雲 / Senun Ikeda

大正 15 年から続く書道研究会「書禅会」の 4 代目会長。みやぎ街道交流会の会旗制作にあたり、デザイン主旨を踏まえ力強くシンボリックな隷書体で揮毫いただきました。

(基本デザイン及びコンセプト作成：日下さおり)



題字：高倉 淳初代会長 揮毫

みやぎ
街道
交流会
ニュース
第 37 号

2017. 12. 24 発行